

第50回大分県春季水泳競技大会における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- 大会前2週間において、以下の事項に該当する場合は、大会の参加を見合わせることに。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 「健康チェックシート」に必要事項を記入し、持参すること。
- 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- 施設内の全ての場面で、人との距離（できるだけ2 m以上）をとって行動すること。
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- 選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- チームごとに、選手控え場所・観覧席の人数制限を周知し、徹底すること。
- 泳ぐとき以外はマスクを着用すること。（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）
- レース前にははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- 大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- 唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- 飲食については、指定場所以外で行わないこと。
- ドリンクの回し飲みはしないこと。
- 飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- ミーティング等は控えること。
- 大会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- 大会終了後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。